



桜原小学校

4月に子どもたちが植えたひまわりの種が太陽の日差しを浴びて、大きく立派に成長しました。



「人権の花」運動 ～ひまわりの花が咲きました～



宇美小学校、桜原小学校の3年生の児童が育てた人権の花「ひまわり」が、それぞれの学校の花壇で見事な花を咲かせました。この「ひまわり」は、児童が人権擁護委員の皆さんや、先生方とともに種まきを行い、水やりなどのお世話をしてきたものです。

「人権の花」運動は、主に小学生を対象とした啓発運動で、昭和57年度から実施されています。その内容は、配布された花の種子、球根などを、児童が協力しながら育成することを通して、協力、感謝することの大切さを学ぶとともに、情操を豊かにし、やさしい思いやりの心を体得させ、人権思想を広くむくことを目的としています。

問い合わせ
社会教育課 社会教育係
☎9333・2600

宇美小学校



町長室の窓から



今年は、梅雨入りしても一向に雨が降らず、空梅雨になるような気配が漂っています。したが、7月に入ってから大雨

が降り、朝倉市や東峰村など県南地域や大分県、熊本県佐賀県など、広範にわたって甚大な被害を受けました。九州地方で初めて特別警報が発令されたこの雨は、地域を無残な姿に変え、多くの尊い命を奪いました。お亡くなりになられた方々に、謹んでご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆さまに、心からお見舞い申し上げます。

今回の災害にあたり、当町はじめ糟屋地区の各自治体では、速やかに職員を被災地に派遣し、24時間体制で支援活動をを行うとともに、心ばかりの義援金を届けさせていただきました。町民の皆さまにおかれましては、多くの方々ボランティアとして被災地で活動され、また、義援金や物資も提供いただいています。

皆さまの暖かいご支援や激励に敬意と感謝を表します。被災された地域の一日も早い復旧・復興を願っています。気象庁などの発表では、今回の災害は、前線が停滞した時間や位置に大きな要因があるということでした。そのため、当町でも雨が降り始めた日から、職員が24時間体制で役場に待機し、警戒しました。被災した市町村が、当町と非常に近い位置にあることを考えると、この大雨が当町に降っていた可能性もあつたわけで、改めて平日頃からの災害への備えや、有事の際の対応の重要性を痛感しています。現在当町では、これまでのさまざまに災害で得た教訓を基に、平成27年度に策定した宇美町地域防災計画の見直しや、有事の際の行動マニュアルの作成を進めているところです。今後は、災害に対する行政や地域、家庭などでの対処法や、二次災害の防止、避難所運営

の在り方などについてお示ししたこのマニュアルの内容を町民の皆さまと共有し、行動訓練などを実施して、災害に強い宇美町を目指したいと考えています。

さて、この4月から本格的にスタートした自治会活動や校区コミュニティも、皆さまのご理解と実践力により、それぞれの自治会や地域で特色ある運営や活動が進められており、大変有難く、また心強く思っています。私たちを取り巻く状況が大きく変化する中、これから先も、先般の災害対策も含めてさまざまな生活上の課題や地域課題などが派生してくると思いますが、今後とも、行政と地域、団体などとの強固な連携のもと、明るく住みよいまちづくりへの歩みを着実に進めていきたいと思いますので、どうぞよろしく願います。

宇美町長 木原 忠

問い合わせ
総務課 総務係
☎9332・1111

宇消

宇美町消防団 ここにありVol.15



問い合わせ 総務課 安全安心係 ☎9332・1111

「災害は、忘れたころにやってくる」といわれますが、近年は、風水害や地震などさまざまな災害が頻発しています。皆さんも、7月の九州北部豪雨は記憶に新しいと思います。

宇美町消防団では、随時団員を募集しています！

年齢18歳以上で、宇美町に居住しているか、勤務している方であればどなたでも入団できます。消防団員の年齢層は幅広く、また自営業者・会社員などさまざまな人が集まった団体です。これから何か始めたいと考えている方、地域に貢献したい方、ぜひ入団をお待ちしています。

また、平常時においても、各地域における夏祭りや警備や、春秋年末に

福岡県大雨災害義援金募金箱の設置

被災された方々を支援するため、社会福祉法人宇美町社会福祉協議会が、町内の施設に義援金の募金箱を設置しています。皆さまのご協力をお願いします。

- 【募金箱の設置場所】▼ 役場総合案内横
- ▼ 老人福祉センター受付窓口▼ 住民福祉センター受付窓口
- ▼ しず・うみ受付窓口▼ 宇美町社会福祉協議会窓口
- 宇美町社会福祉協議会 ☎9331・1008